

はじめに



我が国は、医療技術の進歩や生活環境の改善によって、「人生１００年時代」を迎えようとしています。

平均寿命の延伸の一方で、生活の質を保持しながら日常生活を制限なく送ることが出来る期間、いわゆる「健康寿命」の延伸が、大きな課題となっています。

東大阪市では、平成１５年に「東大阪市健康増進計画（健康トライ２１）」を策定し、関係機関と連携しながら市民の皆様健康づくりを推進して参りました。その後平成２５年に策定した「健康トライ２１（第２次）」では、「東大阪市民がともに支えあい、健康で心豊かに生活できる活力ある社会の実現」を基本理念とし、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目標に、市民の皆様や関係機関、関係団体の皆様と協働で健康づくりに取り組んで参りました。

第２次計画の計画期間において少子高齢化は更に進み、高齢者の就労拡大や新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けての新たな生活様式及び多様な働き方の広まり、ＤＸの加速、仕事と育児、介護との両立など、社会背景は変化し、それに伴い新たな健康課題も明らかになってまいりました。

こうした背景を踏まえて、このたび、令和６年度から令和１７年度までの１２年間の計画期間とする「健康トライ２１（第３次）」を策定しました。

健康で心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のためには、市民の方々や東大阪を構成する様々な主体、市が「ONE TEAM」となり健康づくりに取り組んでいくことが重要です。「ONE TEAM」となり健康づくりに取り組んでいけるよう、皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画策定にあたり、ご尽力いただきました「東大阪市民健康づくり推進協議会」委員の皆様をはじめ、これまでの計画の推進にご尽力賜りました関係団体の皆様、またアンケート調査にご協力いただきました市民の皆様に心から感謝申し上げます。

令和６年３月

東大阪市長 野田 義和